

平成19年度 川上・川下ネットワーク構築支援事業  
成 果 報 告 書

委託法人名 (代表者名)	(財)神戸市産業振興財団 理事長 森脇俊道	所在地	兵庫県神戸市中央区東川崎町 1丁目8番4号
契約名 (テーマ名)	信用金庫グループとの連携を活かした川上・川下ネットワーク構築事業		

1. 委託業務の概要

ものづくり産業全般の発展とビジネスに繋がる価値ある川上・川下情報を集積し、現実的で自律的な連携活動のできる「広域で深みのある川上・川下ネットワーク」を構築するため、

信用金庫グループによる技術力の高い企業の発掘と紹介

シニアアドバイザー（技術・経営力のある企業OB）によるシーズ・ニーズ調査

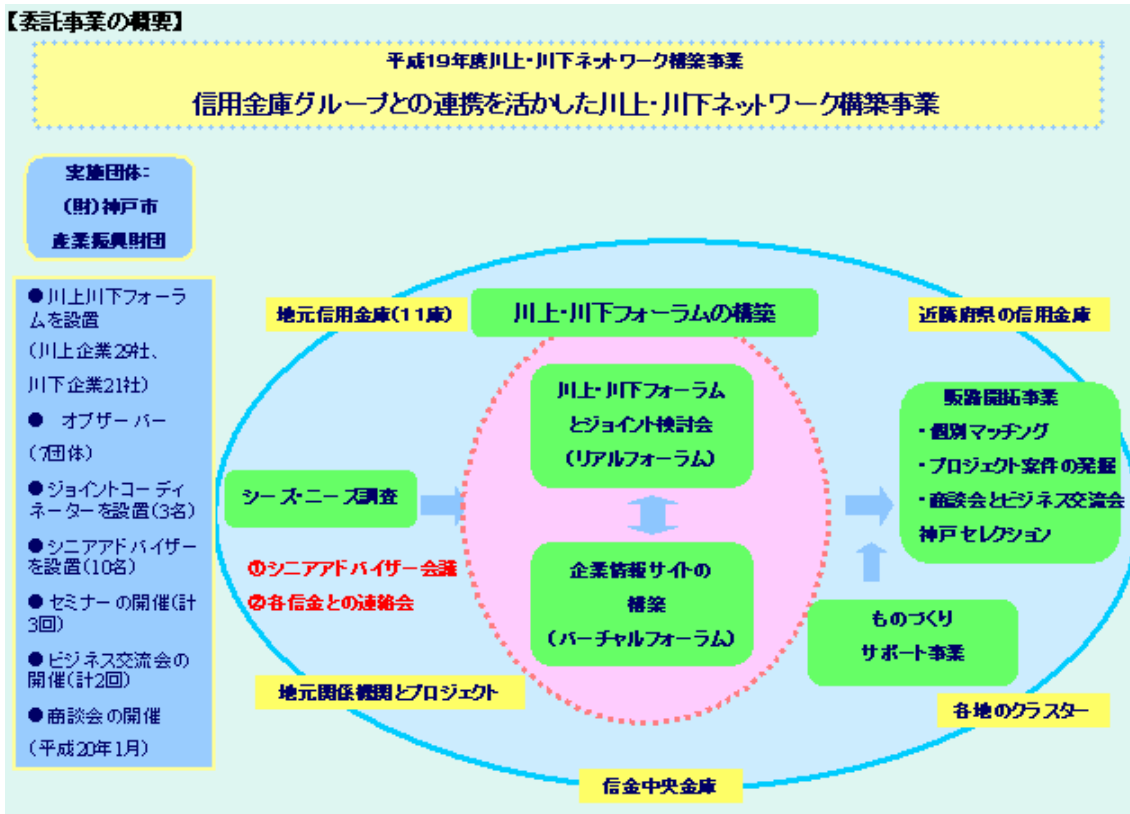
シニアアドバイザーを中心にしたマッチング事業、サポート事業とプロジェクト案件の発掘

などの事業を実施した。

特に、信用金庫とシニアアドバイザーを当事業の両輪として活動した。

（概要図）

【委託事業の概要】



1 フォーラム構成企業者数及び企業者名

川上中小企業者	川上中小企業者数	川上中小企業者・団体名
	企業・団体 14	明興産業株式会社、トクセン工業株式会社、NPO法人国際レスキューシステム研究機構、岡部産業、株式会社アコオ機工、ものづくり復興工場、財団法人ひょうご産業活性化センター、兵庫県中小企業家同友会、兵庫県中小企業団体中央会、財団法人新産業創造研究機構、財団法人神戸ファッション協会、神戸商工会議所、神戸市機械金属工業会、神戸クリエイターズバンク
	金融機関 15	尼崎信用金庫、淡路信用金庫、神戸信用金庫、但陽信用金庫、中兵庫信用金庫、日新信用金庫、播州信用金庫、姫信コンサルティング株式会社、兵庫信用金庫、西兵庫信用金庫、但馬信用金庫、大阪市信用金庫、大阪信用金庫、株式会社大阪彩都総合研究所、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

川下企業者	川下企業者数	川下企業者・団体名・有識者名
	企業・団体 18	株式会社アシックス、株式会社カワサキマシンシステムズ、株式会社カワサキプラントシステムズ、株式会社コベルコ科研、株式会社神菱ハイテック、大栄環境株式会社、ナブテスコ株式会社、日本ジャバラ株式会社、ビー・エル・オートテック株式会社、株式会社村元工作所、森合精機株式会社、株式会社リコー、三輪運輸工業株式会社、株式会社神戸製鋼所、富士通テン株式会社、ジェネシス・テクノロジー株式会社、株式会社大丸 神戸店、楽天株式会社
	金融機関 3	信金中央金庫 営業店部、信金中央金庫 大阪支店、信金中央金庫 神戸支店

2 フォーラム オブザーバー

オブザーバー	オブザーバー数	オブザーバー名
	4	社団法人 兵庫県信用金庫協会、神戸市産業振興局、社団法人 大阪府工業協会、日本銀行 神戸支店

## 2. 事業実績

### (1) フォーラム(シンポジウム・交流会等)開催実績

フォーラム名等	参加企業		参加数	開催日	開催内容
	川上企業	川下企業			
第1回 川上川下フォーラム	明興産業(株)、(株)アコオ機工、ものづくり復興工場、他19社	森合精機(株)、(株)村元製作所、(株)神菱ハイテック、他7社	52	7月20日	1. 専務より挨拶 2. 自己紹介 3. 昨年度の実績及び本年度の活動 4. 具体的な活動及びお願い 5. 意見交換
第2回 川上川下フォーラム	トクセン工業(株)、明興産業(株)、(株)アコオ機工他18社	富士通テン(株)、(株)神戸製鋼所、三輪運輸(株)、他8社	55	8月29日	1. 挨拶 2. 各事業より報告 3. 神戸セレクションの現状報告と事例報告 4. お知らせ 5. 意見交換 6. その他
第3回 川上川下フォーラム	明興産業(株)、国際レスキューシステム研究機構、ものづくり復興工場、尼崎信用金庫、淡路信用金庫、他16社	ジェネシステクノロジー(株)、(株)神戸製鋼所、森合精機(株)、(株)村元製作所、日本ジャバラ(株)、ナプテスコ(株)、(株)神菱ハイテック、他5社	51	9月26日	1. シーズ調査報告 2. ニーズ調査報告 3. マッチング及びプロジェクトの進捗状況報告 4. ものづくりサポート事業 5. セミナーの報告 6. 販路開拓のアプローチについて 7. 意見交換 8. その他 お知らせ
第4回 川上川下フォーラム	(株)アコオ機工、ものづくり復興工場、他16社	(株)大丸神戸店、ジェネシステクノロジー(株)、富士通テン(株)、他9社	51	10月24日	1. シーズ・ニーズ調査事業の報告 2. ものづくりサポート事業の報告 3. 販路開拓事業の報告 4. 意見交換 5. その他 お知らせ
第5回 川上川下フォーラム	トクセン工業(株)、ものづくり復興工場、他13社	(株)神菱ハイテック、ナプテスコ(株)、信金中央金庫他5社	38	11月28日	1. シーズ・ニーズ調査事業の報告 2. ものづくりサポート事業の報告 3. 意見交換 4. その他 お知らせ
第1回 マッチング交流会	ものづくり復興工場、他13社	0	19	7月25日	1. 川上川下フォーラムについて説明 2. 本年度商談報告 3. ドリームキャンドルについて
第2階 マッチング交流会	トクセン工業(株)、他14社	(株)神菱ハイテック、ナプテスコ(株)他、6社	40	11月28日	自動車関連分野の川下ニーズ『車載電子機器関連のニーズについて』 富士通テン(株) 山川氏

(2) セミナー・勉強会開催実績

セミナー名等	実施日	検討課題(テーマ名)	参加企業	
			川上企業	川下企業
第1回ものづくり支援セミナー 『中小企業が知っておきたい特許の知識』	10月5日	企業として知っておきたい同業他社の特許情報等をパソコンから特許庁特許電子図書館にアクセスして知りたい特許情報を効率的に得られる方法を判りやすく解説した。特に今回は、特許のみではなく、商標、意匠についての解説もした。 講師 兵庫県知的所有権センター 特許アドバイザー 丸尾 行秀 氏	岡部産業(株)、勇鉄工所、第一電子(株)、アリオテクノ、インブルーブ、ニュースボックス、氷上製作所(2名)	ビーエルオートテック(株)、神菱ハイテック(2名)
第2回ものづくり支援セミナー 『知っておきたい最新のロボット技術について』	11月9日	企業として知っておきたい最新の産業分野でのロボット技術の実例でわかりやすく説明した。また、今回は国内メーカー7社のロボット(溶接ロボット4台、ハンドリングロボット3台)の稼動見学をした。 講師 (財)新産業創造研究機構 神戸ロボット研究所長 大築 康生 氏	エヌエーブロボテック、エボシ製作所、アスランテック、アイディエフォレスト、日本機材(株)、他37社	(株)カワサキマシシステムズ、(株)神菱ハイテック、ビーエルオートテック(3名)
第3回ものづくり支援セミナー 『知っておきたいプロダクトデザインについて』	12月7日	「デザインとは？」そして「デザイナーの職能」についてのお話を交えながら、商品開発に関わる企業における「プロダクトデザインの必要性和役割」および「商品開発体制と仕組みづくり」をテーマとするセミナーを開催した。 講師 羽原 清明 氏	(株)アコオ機工、(株)やまびこ、ものづくり復興工場(3名)、他10社	ビーエルオートテック(株)



【第1回ものづくり支援セミナー風景】



【第3回ものづくり支援セミナー風景】

### (3) シーズ・ニーズ調査実績

#### 1、シーズ調査について

対象企業・・・県下信用金庫の取引先と団体の推薦企業で技術力のある先。

対象地域・・・兵庫県下と大阪府の一部。

調査方法・・・信用金庫取引先については、信金のアテンドのもとシニアアドバイザーが信金職員と協働で調査を実施した。

#### 2、ニーズ調査について

対象企業・・・地元大手の3グループ(川崎重工、神戸製鋼、三菱重工)の関連企業。

シーズ調査企業に対しマッチング可能性のある川下企業。

消費者ニーズとの接点にある、大手百貨店の各セクション。

対象地域・・・兵庫県下と大阪府の一部。

調査方法・・・大手3グループOBのシニアアドバイザーやジョイント・コーディネータの人脈ルートを活用した。また、シーズ調査の過程でマッチング可能な川下企業については、当事業のネットワークを活用した。

#### 3、マッチング報告について

シーズ・ニーズ調査の結果を「シニアアドバイザー会議」で報告を願い、個別マッチングや商談会に結びつけ報告書を作成した。またマッチングの過程で、新たなニーズの発掘も図れ、具体的なニーズ情報が蓄積した。

以下は調査結果の資料です。

#### . シーズ・ニーズ調査等件数

	シーズ調査件数	ニーズ調査件数	マッチング報告件数	計
19年度	157	21	58	236
18年度	100	19		119
計	257	40	58	355

#### . シーズ調査地域別内訳

地区名	地域	19年度 調査企業数	18年度 調査企業数	合計
神戸	神戸市	74	32	106
阪神南	尼崎市、西宮市、尼崎市	12	17	29
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川市	3	4	7
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、稲美市、播磨町	9	1	10
北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町	11	4	15
中播磨	姫路市、神河町、市川市、福崎町	21	4	25
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、	7	1	8

	上郡町、佐用町			
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町	5	0	5
丹波	篠山市、丹波市	5	4	9
淡路	洲本市、南あわじ市	0	5	5
大阪府		9	18	27
その他		1	10	11
合計		157	100	257

・シーズ調査企業の事業内容別内訳

	原料	加工	設計	中間 部品	最終 製品	サー ビス	その 他	合計
住宅関連分野	1	3	2	1	12	0	1	20
情報通信関連分野	0	2	3	6	10	8	1	30
新 / 省エネルギー関連分野	1	0	0	3	5	0	0	9
環境関連分野	3	4	1	2	10	0	1	21
医療・福祉関連分野	0	0	2	6	7	3	0	18
流通・物流関連分野	0	4	2	3	9	1	0	19
生活文化関連分野	3	14	0	16	42	8	0	83
都市環境整備分野	0	1	2	4	2	1	0	10
人材関連分野	0	0	0	0	0	0	0	0
国際化関連分野	0	0	0	0	0	0	0	0
ビジネス支援関連分野	0	0	0	0	0	2	0	2
新製造技術関連分野	1	1	3	9	10	1	0	25
バイオテクノロジー関連分野	1	0	0	3	6	0	0	10
航空・宇宙関連分野	0	2	0	4	0	0	0	6
海洋関連分野	0	3	0	1	2	0	0	6
その他	2	8	2	22	13	2	2	51
合計	12	42	17	80	128	26	5	310

シーズ調査事業の事業内容別内訳は、企業が持つ多角的な特性を反映しておりますので、内訳数は重複しています。

(4) 販路開拓実績

展示会名等	参加企業		開催日	開催場所	開催内容・検討課題等
	川上企業	川下企業			
プレゼンテーション会 (発表企業:12社) (参加人数:120名)	中小企業 約80社	大手企業 15社	1月 23日	神戸市産 業振興セ ンター	(発表企業) ハリーズ、河村化学工業 ウィンテック、KC コルトン テクノスクリエイト、ワー ルドロック、イトデンエン 지니어リング、ブライト標 識工業、竹村製作所 中井工業、トミタテクノ ス、サイエンティフィックテ クノロジーズ
販路相談会 (販路コーディネート 事業) (販路マッチングナビ ゲート事業)	14社		1月 23日	神戸市産 業振興セ ンター	(相談企業) ベルゴテック、ワールドロ ック、ティーエフケイ、KC コルトン、中井工業、環 研、富士ブレード、井上 金属、サンライト、ブライ ト標識工業
ビジネス商談会 (特設商談コーナー: 富士通テン、神戸製 鋼、三輪運輸、コベ ルコ科研) (個別マッチングコー ナー)	32社	32社	1月 23日	神戸市産 業振興セ ンター	(特設商談コーナー件 数)20件 ・富士通テン:8件 ・神戸製鋼所:6件 ・三輪運輸:4件 ・コベルコ科研:2件 (個別マッチングコー ナー)12件

尚、個別マッチングについては、1月23日以外にもフレキシブルに実施した。(41件)



【プレゼンテーション会】



【販路相談会】

(5) ものづくりサポート事業

ビジネスが成立するために、技術面、経営面、販路面のサポート事業を実施した。

29件(技術面:8件、経営面:1件、販路面:20件)

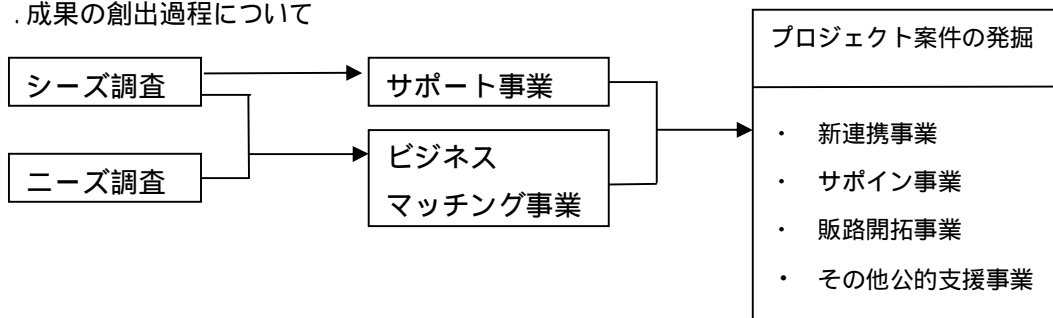
(6) ジョイント・コーディネータの配置及び果たした役割について

氏名	所属	専門分野	川上・川下間のシーズとニーズのマッチング及び連携コーディネートの内容等
水田 和夫	(財)神戸市産業振興財団 アドバイザー	経営 金融	・信用金庫グループを中心にしたネットワークの構築と具体的な連携事業の実施 ・シニアアドバイザーの組織化とシーズ・ニーズ調査事業の実施 ・マッチング・サポート事業とプロジェクト案件の創出
四方 宏	(財)新産業創造研究機構 アドバイザー	技術指導	・新連携等の具体的公的支援プロジェクトの創出 ・セミナー事業の企画と実施
村松 一生	(株)インキュベーション・アライアンス 代表 中小機構 販路開拓チーフ アドバイザー	技術マーケティング	・大手川下企業のニーズの発掘とビジネスマッチング機会の創出 特設商談コーナーの設置(1月23日) ・ 富士通テン(株) ・ (株)神戸製鋼所 ・ 三輪運輸工業(株) ・ (株)コベルコ科研 (株)東京エレクトロンのオーダー抽出と個別マッチング

3. 本事業の実施結果(成果)及び評価

成果

・成果の創出過程について



シーズ・ニーズ調査を行い、サポート事業やビジネス・マッチング事業につなげると共にプロジェクト案件の発掘を行なった。

・結果報告(H19年12月現在)

a. シーズ・ニーズ調査等

	シーズ調査件数	ニーズ調査件数	マッチング報告件数	計
19年度	157	21	58	236
18年度	100	19		119
計	257	40	58	355

特筆事項として、シーズ調査において新銘柄の企業が発掘できた。



b、プロジェクト案件、マッチング案件、サポート案件

事業実施期間中における、シーズ・ニーズ調査、個別マッチング活動、1月23日の商談会や販路相談会において以下の成果を得た。

	合計件数	調整中	商談中	具体化	成立(実施)
プロジェクト案件	10	2	5	3	0
マッチング案件	73	13	33	21	6
サポート案件	29	0	9	13	7
計	112	15	47	37	13

評価

、ネットワークの構築について

- a、幅広い関係企業と関連機関の参画と理解が得られた。

川上企業:29社 川下企業:21社 オブザーバー:7団体

- b、信用金庫グループの広域的な参画と実務的な協力が得られた。

信金中央金庫(本部、大阪、神戸) 兵庫県下11信金 大阪府下3信金

- c、経験豊富なシニアアドバイザー10名の参画とNPO的活動を願った。

(財)新産業創造研究機構 技術移転アドバイザー 4名

近畿経済産業局 販路マッチング・ナビゲーター 6名

中小企業基盤機構 近畿支部 販路拡大コーディネータ 1名

兵庫ものづくり支援センター神戸 技術コーディネータ 1名

、成果の創出について

- a、信用金庫とシニアアドバイザーの連携によるシーズ・ニーズの発掘が図れた。

信金のアテンドのもとシニアアドバイザーが信金職員と協働で調査を実施した。

結果、数多くのシーズ・ニーズの蓄積ができたのと、新規銘柄の企業が発掘できた。

また、信用金庫にとっても取引先企業の再認識が可能となり、取引深耕が図れた。

- b、シニアアドバイザー会議の開催と具体的案件の発掘が図れた。

定例的な会議と、個別的な会議を含めると合計10回程度実施した。

結果、ベクトルの統一と「マッチング案件」「プロジェクト案件」を目的とした活動が可能となり成果が上がった。

(プロジェクト案件:10件、マッチング案件:73件、サポート案件:29件)

- c、ジョイント・コーディネータ、シニアアドバイザーの人脈活用による案件の創出が図れた。

大手企業OBである両者は、人的ネットワークがあり成果の創出に向け、フレキシブルな活動を願った。(例:大手企業のニーズプレゼン、具体的案件の提示、大手企業との特設商談コーナーの設置)

- d、中小企業基盤整備機構 近畿支部との連携が図れた。

・プロジェクト案件創出のための定期的な相談会の実施。

・販路開拓コーディネータ事業相談の協力。(6社)

#### 4. 連携プロジェクトへのアプローチについて

連携プロジェクト名	対象分野	今後のアプローチ	参加企業数	
			川上企業	川下企業
新連携構築事業	環境分野	鋳型廃材と廃プラ混合材料の製造。関係企業と調整中。	2社	1社
新連携構築事業	医療分野	ウェアブルPCを利用した医療付帯装置の実用化。 中小機構と相談。試作品製造中。	1社	1社
新連携事業化事業	計測機器	ボルト軸力締め付け確認装置の事業化。 新連携構築の認定事業。	1社	1社
新連携構築事業 or 地域活性化事業	食品分野	播磨産ガザミの高付加価値商品の開発。 ワーキングチームの立ち上げ。	2社	1社
新連携構築事業	生活関連	脱臭剤、調湿剤の高付加価値商品の開発。 試験生産計画中。	1社	1社
新連携構築事業	食品分野	安価で高性能なソフトクリーム製造機の開発。 食品チェーン会社と連携。	2社	1社
近経局挑戦企業事業	都市環境整備関連分野	ソーラー式緊急放送機能付街路灯の実用化。 基本計画、市場調査は完了。	1社	1社
神戸市補助金	医療・福祉分野	ECO リニア駆動装置を利用した介護補助装置の実用化。 サポイン認定技術。	数社	1社

(その他アプローチについて)

対象分野	今後のアプローチ	参加企業数	
		川上企業	川下企業
神戸セレクション事業	将来の神戸ブランド商品の紹介と販売。 19年12月～20年1月「楽天」にてネット販売 20年1月「神戸大丸百貨店」にてリアル販売。 20年2月「小田急百貨店」にてリアル販売。	33社	3社

#### 5. 今後の取組み方針

当該事業を自立的な永続事業とするために、以下の事項に注力する。

(ア) 受益者の更なる理解と協力

事業を継続するためには、関係者の理解と運営費用が必要である。そのためにも当該事業の受益者の更なる理解と協力を仰ぐことが必要である。

(イ) NPO 的シニアアドバイザーの確保

経験豊富でまだまだ活動的な企業 OB は沢山いる。その中で、当該事業に理解があり、NPO 的で事業活動に生きがいを見出されるシニアが必要となる。

(ウ) 関連機関と事業の更なる連携

関係機関の中では、当該事業と類似した事業を行っているところが多々ある。そのような機関の事業をレビューし連携を可能としたい。

(エ) 蓄積情報の有効活用

2年間で沢山の川上・川下情報が集積した。すでに成立したものもあるが、その過程のものや潜在化しているものも多々ある。次年度以降は、この蓄積情報を活用して多くの成果を創出したい。

また、次年度までの期間、活動が空白とならないよう考慮したい。